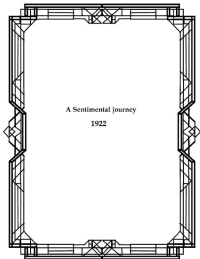


Sentimental Journey 1922

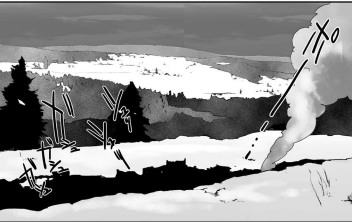


LUCUMIS 3



A Sentimental journey

1922





カ
ッ

カ
ッ

オレはずっと
旅をしている











クッ
クッ
クッ
クッ



あの
じいじは
楽だったろ

ただ
じゃあ
りまくる
だけ

ああいう
芝居が
かった色
事が
意味なん
だ



次は
こっちだ



ちよっとは
笑って
みせてやれ

不思議な事に、
この世界では
たまに
知っている
顔に出くわす





出こ駅さ
会いつで
ったつきの
たにの



こいつは
オレの世界
の
見方
の方が
似てる













大丈夫、
皆紳士だよ

遅らわず
言われた通りにして
ちよつと目を
つぶっていれば済む

寝台車の
チケットにも
おこづかいも
たんまり

：おまえは？

僕の
客も乗ってる

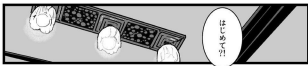
なじみ客で
一晩中
貸し切りだ

一次は
一等寝台

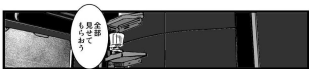
ああ、
助かった！

取り分は
はずむよ









そんな子はお仕置きだな



寄宿舎の
頃を
思い出すね

いい子に
していたら
気持ちよく
してあげるよ

お仕置きだ



三ノ

そう、
上手だよ

いい子だ

本当に
いい子だね

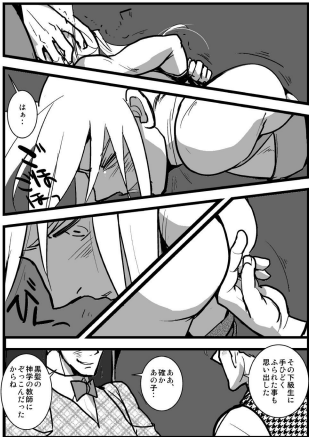
そうだ、
養育舎の頃、

この子、
僕が片思い
していた
下宿生に
似てる

きれいな
金髪の、

……んっ

たし



はあ！

その下級生に
手ひどく
ふられた事も
思い出した

ああ、
確かあの子！

黒堂の
神学の教師に
ぞっこんだった
からね



商売女の
口上と
一緒だろう

こんなに
色気のある子が
手つかずの
訳がない

はじめて
か



ガッ
ガッ
ガッ

ゴ
ゴ
ゴ

何
だってん
だよ



さっさと
すれよ



カッ

カッ

カッ



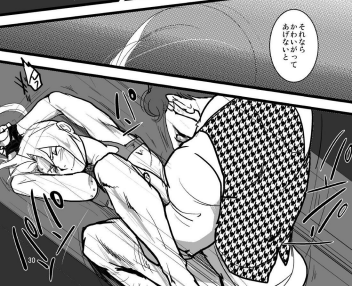
ああ、
すごく……

やはり
男の手が
一番だ

おや、
この手……

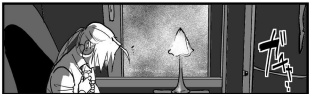
かなり
男に慣れている
みたいだね

滑ってる



それなら
かわいがって
あげないと







もっと
足を開いて

もっと



誰にでも
足を開く
のか

悪い子だ

悪い子には
羽を
与えないと



カ
タ
ン
ボ
ン

カ
タ
ン
ボ
ン



はな



おつかれさん



お客さま方は
大満足だ





会話を聞いてか？



いいや



とんでもない
奴だな

色気狂か



身替いら
出来たら
談話室に
行け

奥の
小部屋だ

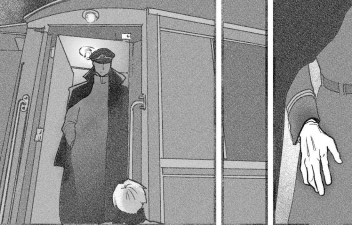


おまえの
害も
オレにまわせ

クワッ
クワッ
クワッ
クワッ
クワッ











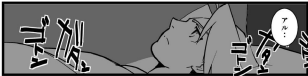




オレたちは
ずっと
旅をしていた



兄さん



アッ！



汽車に乗ると
お前と
旅していた頃を
思い出す

この機軸の先で
求めるものが
見つかるはずだと
思っていた

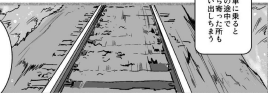


オレは
悪い兄貴だ



汽車に乗ると
旅の途中で
立ち寄った所も
思い出しまう

兄さん、
そろそろ
イースト・シティに
着くよ





笑って
くれ

笑顔が
いいな

だまれ
ばかやろう

いいよ

二人きりだ

この旅は
あなたに
たどりつくの
だから

なんじは
何をいふの



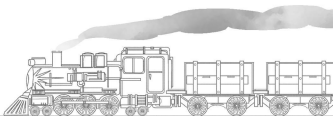
この列車は
オレの駅には
着かない

それでも、
いつの日か
絶対に
帰る場所へと
向かって

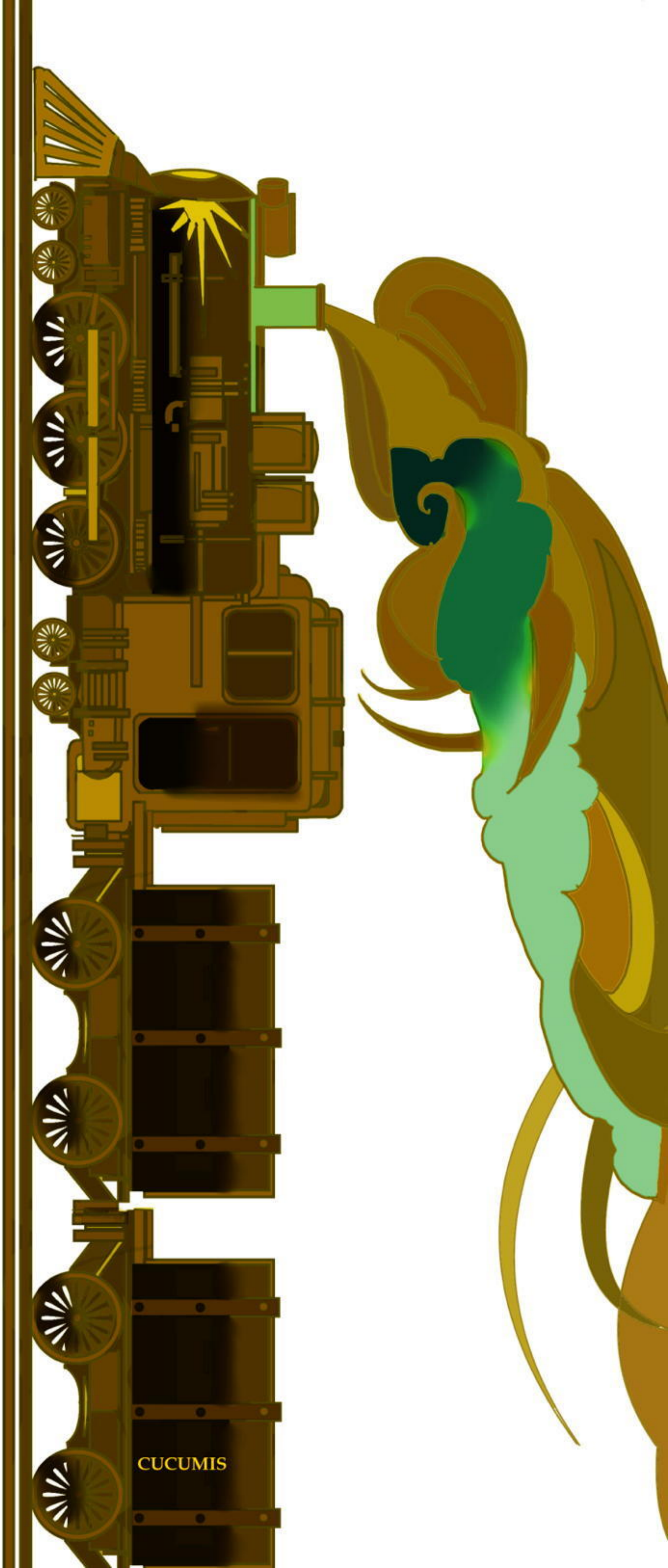


オレは
旅している

THE END



2014年12月20日撮影、JR東日本



CUCUMIS